

第2章 田原本町の概要

第1節 位置・自然

本町は、奈良盆地の中央部に位置し、東西約5.8キロメートル、南北6.1キロメートル、総面積は21.10平方キロメートル、北部は三宅町、北東部は天理市、南部は橿原市、東南部は桜井市、西部は広陵町に隣接しています。

町の東部を大和川、中央部を寺川、西部を飛鳥川、曾我川がそれぞれ北流し、これらの河川にはさまれた平坦地として形成され、豊かな自然環境が広がっています。

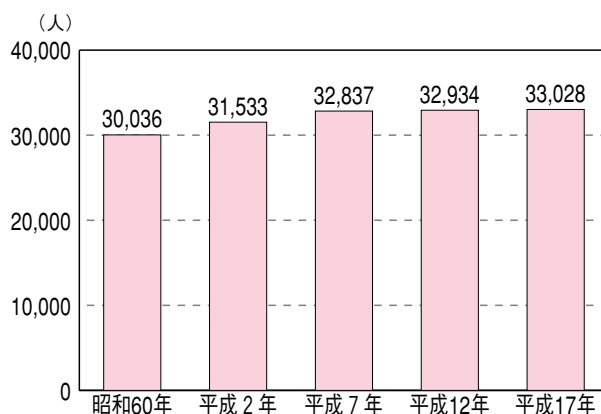
周りを山に囲まれ、夏は暑く、冬は寒い典型的な盆地型気候となっています。

第2節 人口・世帯の状況

1. 総人口の推移

本町の総人口の推移は、昭和60年の30,036人から平成7年には32,837人、平成17年には33,028人となり、昭和60年から平成7年の10年間で2,801人の大幅な増加がみられました。

平成7年以降は微増となっています。

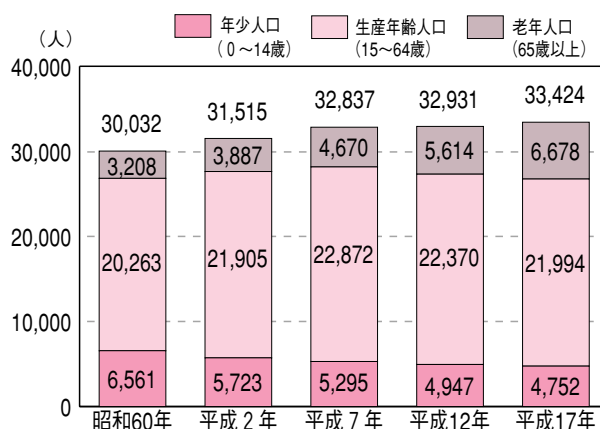


資料：国勢調査（平成17年のみ速報値）

2. 年齢3区分別人口の推移

年齢3区分別人口の推移をみると、年少人口は年々減少傾向にあり、平成17年には4,752人となり、10年前の平成7年と比較すると、543人減少しています。

一方、老年人口は年々増加傾向にあり、平成17年には6,678人となり、10年前の平成7年と比較すると、2,008人増加しており、本町においても少子・高齢化が進んでいます。

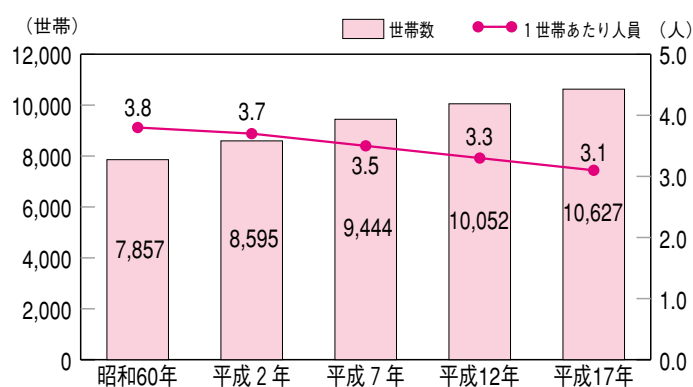


資料：国勢調査、平成17年のみ住民基本台帳（10月1日現在）
※「年齢3区分別人口の推移」のグラフには年齢不詳分を含んでいません。

3. 世帯数の推移

世帯数の推移をみると年々増加傾向にあり、平成17年には10,627世帯となっています。

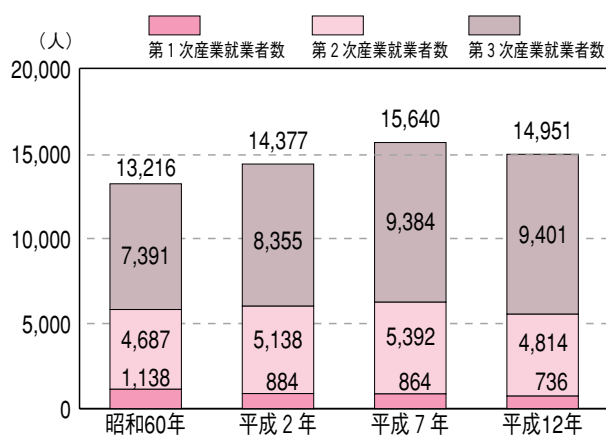
一方、1世帯あたりの人員は減少傾向にあり、平成17年では3.1人と核家族化の進行がうかがえます。



資料：国勢調査（平成17年のみ速報値）

第3節 産業別就業人口の推移

産業別就業人口割合の推移をみると、いずれの年も第3次産業が最も多くなっており、年々増加傾向にあります。また、第1次産業については、昭和60年以降減少傾向となっています。



資料：国勢調査

